



2011年6月9日

関係各位

中野区立 武蔵台小学校・上鷺宮小学校で
家政大生と5年生が学校田で田植え交流
名取市の被災農家の現状も報告しました



気分は小学生！大騒ぎで給食を食べる！

○学生が5年生に米作りを伝える「食育の循環」3年目の挑戦！！○



田植えが終わった2年振りに生産者の阿部信行さんも参加

白藤プロジェクトの学生は新潟県で、田植え、草取り、稲刈り等のお米作りの体験をしています。食育の道を目指す彼女たちは体験を東京の子供達に伝えようと、3年前から小学校の田植えの手伝いとお米作りの素晴らしさを伝えるプレゼンをモンペ姿で行っています。

今年も一日で2校を回り子供達と交流。プレゼンでは4年生で教育実習が終わったばかりの緒方夏希さんが「お米作り」について、子供達に質問を織り交ぜながら説明。

続いて、第5期リーダーの高橋菜里さんが東日本大震災の被災地の農業の現状を名取市の田んぼとカーネーション農家のスライドを使い話しかけました。

お昼は上鷺宮小学校で2クラスにわかれて子供達と一緒に給食のご相伴に預かりました。田植え終了後には両校の校長先生から校長室で、学校給食の現状やアレルギー児対策など学校の教育現場の貴重な話を伺えました。栄養教諭を目指す学生にとって貴重な一日となりました。



素足にモンペ姿は白藤プロジェクトのトレードマーク

秋には頭を垂れた稲穂に成長することを願います！



武蔵台小の田植えにはガトウ専科松井秀明社長も参加。米粉シューラスクを子供達にプレゼント。秋の収穫時に子供と米粉スイーツを手作りの予定。



今年も上鷺宮小では、「田んぼに入らない田植え」を行いました。当然、靴は履いたまま。できれば、素足で泥の感覚を味あわせてあげたい！



武蔵台小では3クラスが一度に田植えに参加。今年は94名の子供達で過去最多人数。最後の列の田植えまでには1時間余りかかりました。



左足を怪我して包帯姿の女の子。それでも、どうしても田んぼに入りたくて、片足だけを泥に付ける。学生が抱き抱えてサポートして成功！



【 問い合わせ先：(有)エコ・ライス新潟 豊永有(トヨカユ) 】

TEL 0258-66-0446 FAX 0258-66-0447

HP <http://www.rice-shirafuji.com> e-mail eco-net@nekonet.ne.jp

白藤HPに学生の手作りブログを追加しました。